

【広島市消費者物価指数】

1 平成 27 年 2 月の動向

- 広島市総合指数（102.6）は前月比で3か月ぶりの下落。前年同月比は20か月連続の上昇。
- 生鮮食品を除く総合指数（102.0）は前月比で2か月連続の下落。前年同月比は20か月連続の上昇。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（99.9）は前月比で2か月ぶりの上昇。前年同月比は17か月連続の上昇。

2 総合指数、生鮮食品を除く総合指数、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	102.6	▲0.2	2.6
生鮮食品を除く総合指数	102.0	▲0.1	2.2
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	99.9	0.1	1.9

3 前月からの動き

～教養娯楽は上昇，食料は下落。～

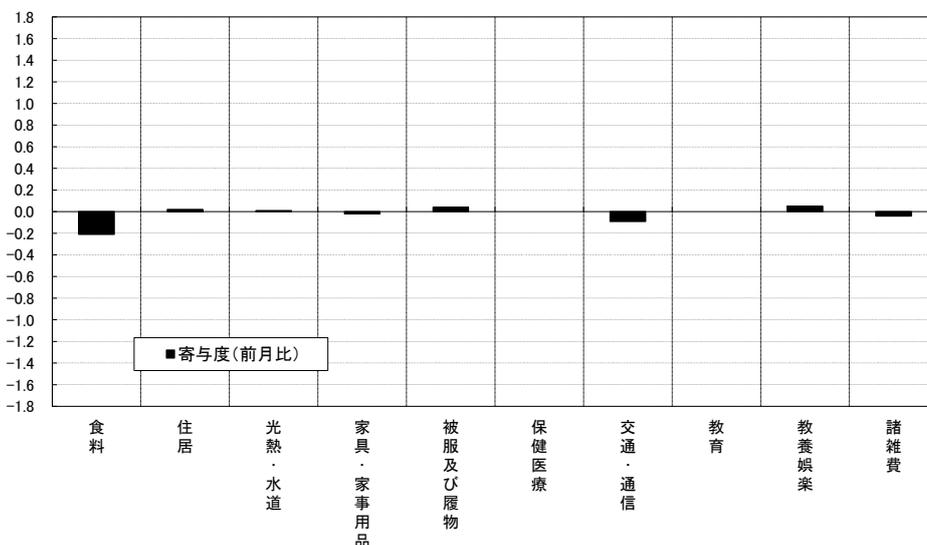
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	102.6	106.7	99.6	113.0	92.7	100.1	100.1	101.8	98.2	96.0	108.4
前月比 (%)	▲0.2	▲0.8	0.1	0.1	▲0.6	1.0	0.0	▲0.7	0.0	0.5	▲0.6
寄与度	▲0.2	▲0.21	0.02	0.01	▲0.02	0.04	0.00	▲0.09	0.00	0.05	▲0.04

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

教養娯楽：教養娯楽サービス（前月比 1.3%，寄与度 0.07）等
 食 料：野菜・海藻（前月比 ▲3.4%，寄与度 ▲0.10）等

図1 10大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に、各費目がどれだけ影響したかを示したもの。本来、寄与度の合計は、総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
項 目 (主な品目名)	前月比	項 目 (主な品目名)	前月比
洋服	3.9%	野菜・海藻 (えのきだけ 等)	▲3.4%
教養娯楽サービス (月謝[ダンス] 等)	1.3%	自動車等関係費 (ガソリン 等)	▲1.2%
設備・修繕維持 (システムキッチン 等)	0.7%	肉類 (牛肉[国産品] 等)	▲1.8%
ガス代 (都市ガス代 等)	0.7%	シャツ・セーター類 (婦人セーター[長袖] 等)	▲4.0%
他の被服類 (帽子 等)	2.9%	調理食品 (うなぎかば焼き 等)	▲0.8%

4 前年同月からの動き

～食料, 教養娯楽及び光熱・水道は上昇, 交通・通信は下落。～

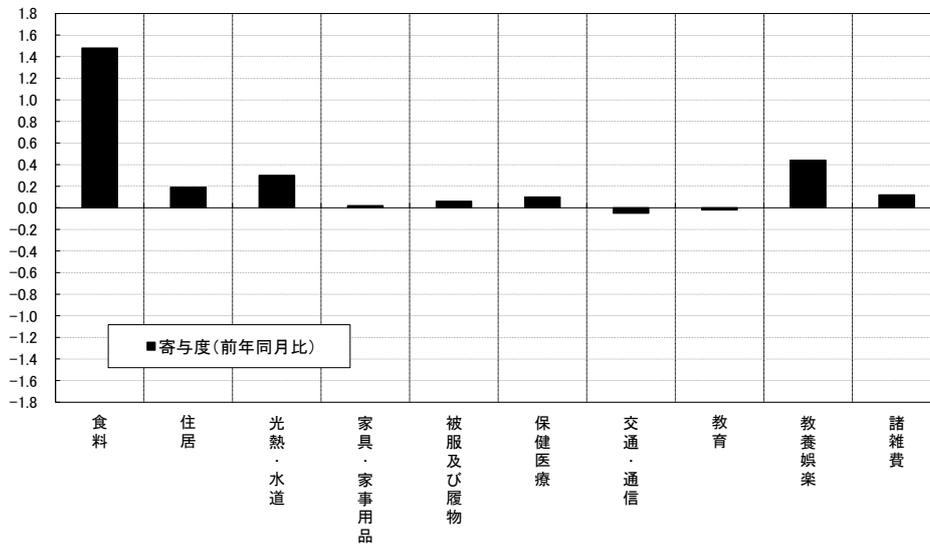
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	2.6	5.8	1.0	3.7	0.5	1.3	2.2	▲0.4	▲0.7	4.1	1.8
寄与度	2.6	1.48	0.19	0.30	0.02	0.06	0.10	▲0.05	▲0.02	0.44	0.12

(参考) 主な要因となっている10大費目について, 寄与の大きかった中分類項目

- 食料: 魚介類 (前年同月比 13.0%, 寄与度 0.30) 等
- 教養娯楽: 教養娯楽サービス (前年同月比 4.3%, 寄与度 0.25) 等
- 光熱・水道: 電気代 (前年同月比 5.1%, 寄与度 0.20) 等
- 交通・通信: 自動車等関係費 (前年同月比 ▲3.8%, 寄与度 ▲0.29) 等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
費 目 (主な品目名)	前年同月比	費 目 (主な品目名)	前年同月比
魚介類 (かき(貝) 等)	13.0%	自動車等関係費 (ガソリン 等)	▲3.8%
教養娯楽サービス (宿泊料 等)	4.3%	シャツ・セーター類 (婦人Tシャツ[長袖] 等)	▲6.0%
外食 (焼肉 等)	4.6%	他の光熱 (灯油)	▲15.7%
肉類 (牛肉[輸入品] 等)	9.3%	補習教育 (補習教育[小学校] 等)	▲9.0%
交通 (高速自動車国道料金 等)	8.2%	穀類 (うるち米 等)	▲2.2%